

4. 次期の見通し

販売電力量は、オール電化住宅の普及に加え、産業用での在庫調整の進展による生産持ち直しの動きなどにより、増加する見通しであります。

このような状況のなかで、連結業績の通期見通しは、収入面では、販売電力量の増加や燃料費調整制度の影響などから、売上高は、増収となる見通しであります。

一方支出面では、燃料価格の上昇や発電設備に係る定期検査費用の増加はあるものの、泊発電所3号機をはじめとした原子力発電量の増加により燃料費が減少するなど、費用の増加が抑制されることから、経常利益は増益となる見通しであります。

以上により、次期の売上高は5,570億円程度、営業利益は390億円程度、経常利益は250億円程度となる見込みであります。

また、資産除去債務会計基準の適用に伴う過年度分の影響額について、特別損失の計上を予定していることから、当期純利益は110億円程度となる見込みであります。

○ 連結業績見通し

23年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通 期		第2四半期連結累計期間	
		対前期増減		対前年同四半期増減
売上高	557,000	8,000	260,000	3,000
営業利益	39,000	7,000	17,000	同程度
経常利益	25,000	7,000	10,000	同程度
当期純利益	11,000	4,000	3,000	同程度
販売電力量	320億kWh程度	(1.6%程度) 5億kWh程度	150億kWh程度	(2.3%程度) 4億kWh程度

○ 単独業績見通し

23年3月期単独業績予想

(単位：百万円)

	通 期		第2四半期累計期間	
		対前期増減		対前年同四半期増減
売上高	535,000	8,000	251,000	3,000
営業利益	34,000	7,000	16,000	同程度
経常利益	20,000	7,000	9,000	同程度
当期純利益	9,000	4,000	3,000	同程度

※通期の為替レートは90円/米ドル程度、原油CIF価格は85米ドル/b1程度として想定しております。